

日向市ふるさと寄附金 平成21年度実績


平成21年度は、20名の方々から、2,730,000円の寄附をいただきました。皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。


ここでは、日向市が平成21年度に実施した主な事業を政策分野毎にご紹介します。皆さま方からいただいた寄附金は、これらの事業の財源の一部として活用させていただきました。


“人”の分野 ～未来を拓く人が育つまちづくり～ 寄附金額:365,000円(3名)		
事業名と事業の概要	事業の様相	決算額 (単位:千円)
<p>30人学級推進事業</p> <p>小学生から中学1年生になったとたん、学習や生活の変化になじめずに不登校となったり、いじめが急増するといういわゆる「中1ギャップ」。日向市ではこの解消を図るため、中学校に少人数学級を導入し、きめ細かな教育の実践に努めています。</p>	 <p>授業の様子</p>	2,708
<p>小中連携・一貫推進事業</p> <p>小学校から中学校の義務教育9年間を見通した一貫した教育で、子どもたちの学びと育ちの連続性を保ち、子どもたち一人ひとりの豊かな成長を育むために小中連携・一貫教育を推進しています。平成21年度には老朽化した平岩小中学校の体育館を整備しました。</p>	 <p>耳川流域産スギを使用し、太陽光発電設備も備えられた体育館</p>	241,249
<p>ブックスタート運動推進事業</p> <p>赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりと心触れ合うひと時を過ごすきっかけを作っていただくために「ブックスタート運動」を推進しています。7か月健診と1歳6か月健診時に子どもの発達段階に応じた絵本や子育ての資料を保護者に差し上げるとともに、子育てに関する様々な相談を受け付けています。</p>	 <p>1歳6ヶ月検診での読み聞かせ</p>	1,426

“くらし”の分野 ～健康で安心してらせるまちづくり～ 寄附金額:105,000円(2名)		
事業名と事業の概要	事業の様相	決算額 (単位:千円)

<p>災害時要援護者支援対策事業</p> <p>万が一災害が発生した時に重要になるのは、一人暮らしの高齢者や障害のある方々をどのように支援するのか… 地域自治会、民生委員、自主防災組織、消防団、行政が地域の要援護者等の情報を共有し、連携して災害時の非難支援を行うために「要援護者にかかる登録システム」を導入しました。</p>	 <p>集団災害事故救急救護訓練</p>	579
<p>シルバー人材センター支援事業</p> <p>日向市シルバー人材センターでは、高齢者の皆さんが仕事やサークル活動を行いながら、生きがいづくり、健康づくりに励んでいます。平成21年度は、会員の新たな活動拠点となる生きいきプラザ「みなこんね」を開設しました。</p>	 <p>シルバー人材センターの登録会員</p>	25,708
<p>消防署東郷分遣所整備事業</p> <p>東郷町域の災害等に迅速に対応するために、消防署東郷分遣所を開設しました。これにより同地域の119番通報による現場への到着は、10分から15分程度短縮できる見込みです。今後、東郷町域の防災拠点施設としての活躍が期待されます。</p>	 <p>消防署東郷分遣所落成式</p>	87,563
<p>日向市初期救急診療所オープン</p> <p>医師不足が叫ばれる中、軽症の患者が安易に2次救急医療機関を利用するいわゆる「コンビニ受診」が問題になっています。重症救急患者を受け入れる2次救急医療機関の安易な夜間受診を減らし、負担軽減を図ることを目的に、「初期救急診療所」がオープンしました。診療科は内科と外科で、市東臼杵郡医師会から医師2人が当番で派遣されています。</p>	 <p>日向市初期救急診療所の開所式</p>	20,712

<p>“産業”の分野 ～元気で活力ある産業が育つまちづくり～ 寄附金額:20,000円(1名)</p>		
事業名と事業の概要	事業の様態	決算額 (単位:千円)
<p>重要港湾「細島港」整備事業</p> <p>細島港は、県内随一の国際貿易港であり、今後、東九州自動車道等の整備が進めば、陸・海の交通体系がリンクすることにより、日向市の交通アクセスは飛躍的に向上します。細島港では、「九州の扇の要」といえる港としての発展を目指し、国・県と連携して整備が進められています。</p>	 <p>宮崎県初の外国客船の寄港 レジェンド・オブ・ザ・シーズ</p>	266,364

<p>日向・入郷地域のブランド確立事業</p> <p>日向特産の「へべす」や美郷町「完熟きんかん」に続くブランド確立のため、「みやざきブランド」認証作物の消費拡大及び流通に関する調査研究等を実施し、農業の振興及び後継者の育成等に努めています。</p>	 <p>日向市特産へべす</p>	455	
<p>林業振興事業</p> <p>全国有数の森林県である宮崎県の中でも耳川流域は豊富な森林資源を有しています。森林はCO₂の吸収や水質の浄化、山崩れの防止など、優れた公益的機能を有しており、環境問題が叫ばれる現代社会において非常に重要な役割を担っています。日向市では、林業・木材産業の振興を図るため、森林の適正な維持管理及び森林作業効率化のための生産基盤の整備、担い手対策、有害鳥獣被害防止、林業事業体への資金貸付等を行っています。</p>			125,510
<p>農業施設設置促進対策(就農条件整備)事業</p> <p>全国的な人口減少社会に突入した現在、後継者不足等に悩まされている農業産業の振興を図ることは、喫緊の課題となっています。平成21年度は施設園芸用施設などの関連資材購入にかかる補助を行いました。</p>			6,251

<p>“環境”の分野 ～自然と共生した快適な環境のまちづくり～ 寄附金額:100,000 円(1名)</p>				
事業名と事業の概要	事業の様相	決算額 (単位:千円)		
<p>浄化センターの施設改修事業</p> <p>日向市浄化センターは、下水道管を通して運び込まれてきた下水をきれいな水に生まれ変わらせて川に戻す施設ですが、建設から20年以上が経過し、老朽化が課題となっていたため、平成21年度に施設の改築及び整備を行いました。今後も水質の適正かつ効率的な維持管理に努めていきます。</p>			127,000	
<p>重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業</p> <p>美々津は、古い歴史を持つ廻船問屋等で栄えた港町で、古い敷地割や石畳とともに明治時代の建物が数多く残されており、その町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。同地区の町並み保存と活用に向け、地区内の建物の修理・修景を行いました。</p>			 <p>美々津の町並み</p>	15,395

木質バイオマスボイラー導入事業

日向市が有する豊富な森林資源を有効に利活用し、資源循環型社会の構築を目指ため、日向サンパーク温泉に木質バイオマスボイラーを導入しました。燃料には、製材廃材や農業用廃プラを原料とした固形燃料(RPF)を使用し、従来の灯油使用を大幅に削減することで、コストやCO2の削減に大きく寄与するものと期待されています。また、同施設を環境にやさしい温泉施設として全国に広くPRし、さらなる集客に努めます。



日向サンパーク温泉に導入された
木質バイオマスボイラー

47,250

“交流”の分野 ～活発な交流により豊かさが享受できるまちづくり～ 寄附金額:10,000円(1名)

事業名と事業の概要

事業の様相

決算額
(単位:
千円)

「牧水のふるさと」観光まちづくり事業

国民的歌手「若山牧水」の生誕地である東郷町。「牧水ウォーク」や滞在型観光に向けた「牧水塾」を開催しています。牧水を育んだ山や川といった自然や人々との交流・体験を通して牧水のふるさと「日向市」を全国に発信しています。



牧水に扮して歩く
「牧水なりきりウォーク」

1,626

観光客誘致推進事業

観光地への案内看板の設置や観光指定道路の維持管理を推進し、観光客誘引に努めるとともに、大都市からの旅行エージェンツの招致等により、馬ヶ背、願いが叶うクルスをはじめ、市内に点在する観光地を点から線に結ぶ新たな観光商品の開発に努めています。



日向岬「海上遊覧船」就航

865

スポーツキャンプ活性化事業

スポーツキャンプ地としても恵まれた自然環境や体育施設を活かし、欽ちゃん球団「茨城ゴールデンゴールズ」や韓国プロ野球「起亜タイガース」、大鵬薬品女子ソフトボール部等のスポーツキャンプを誘致しました。



茨城ゴールデンゴールズキャンプ

3,118

“市長におまかせ” 寄附金額:2,130,000円(12名)

事業名と事業の概要	事業の様相	決算額 (単位:千円)
<p>日向市駅前交流広場オープン</p> <p>JR日豊本線の高架化事業に伴い、平成18年12月に新しいJR日向市駅が開業したところですが、平成21年には駅周辺を含むまちなかの賑わいと交流を創出するために「日向市駅前交流広場」を整備しました。広場全体には芝生を敷き詰め、全長70mの水路や噴水を設置し、サクラやモミジ、ジャカランダ等を植栽し、四季を通じて多くの市民が憩える空間となっています。</p>	 <p>日向市駅前交流広場</p>	99,000
<p>市民まちづくり支援事業</p> <p>日向市では、市民活動団体等が自由な発想で自らが主体となる行方企画提案事業を募集し、市民の代表と行政で組織する審査会の公平な審査を経て事業を採択・実施するという提案公募型の「日向市市民まちづくり支援事業」を実施しています。平成21年度は25団体が「さあ・始めよう農業小学校」等25事業を実施しました。また、地域主体のまちづくりを進めるために、現在「新しい地域コミュニティ制度」の導入に向け準備を進めており、平成22年度からは、塩見、細島、平岩の3地区をモデル地区として、各地区に権限・予算・責任の一部を委ね、地域の自立と活性化を図っていく取組を進める予定です。</p>	 <p>「さあ・始めよう農業小学校」 財光寺農業小学校で 農作業を体験する小学生</p>	47,407
<p>定住自立圏形成推進事業</p> <p>定住自立圏構想とは、地方圏において、安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフステージやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出するため、全国的な見地から推進されている構想です。日向市では、近隣の門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村と「日向圏域定住自立圏形成協定」を締結し、初期救急医療や二次救急医療体制の確保、企業誘致や重要港湾細島港を活用した物流体制の整備、森林資源の活用といった分野に連携して取り組んでいくこととしました。</p>	 <p>日向圏域定住自立圏形成協定 締結式</p>	602